

助 - 23

は

N1	は	N2 です A です AN です V ます
----	---	--------------------------------

基 本

例 文

- ① わたしのうちは東京にあります。
- ② 桜の花はきれいです。
- ③ A: 田中さんはどんな人ですか。
B: きれいな人です。
- ④ A: 机の上に辞書がありますか。
B: いいえ、辞書はありません。
- ⑤ A: この本を読みましたか。
B: はい、その本はもう読みました。
- ⑥ A: お仕事は。
B: 高校で日本語を教えています。
- ⑦ わたしは両親と住んでいますが、兄は一人で住んでいます。
- ⑧ 犬はすきですが、猫はきらいです。
- ⑨ 吉田さんとはテニスをしますが、田中さんとはしません。
- ⑩ 田中さんにはもう手紙を書きました。
- ⑪ 駅からは歩いて10分ぐらいです。
- ⑫ わたしの部屋にはテレビがあります。

解 説

- A. 「は」は、N1 が文の主題であることを示す。(例文①～⑥⑩⑪⑫)
- B. 「は」は、N1 をほかと対比的に述べるときに使う。(例文⑦⑧⑨)
- C. 「は」は、疑問詞につけることはできない。
- D. ほかの助詞といっしょに使うことができる。(例文⑨⑩⑪⑫)

N に / へ / で / と / から / まで

N には / へは / では / とは / からは / までは

N が / を

N は

- E. 「は」は「ワ」と発音する。

先生へ

「は」は助詞。

「は」は、1文の中に複数現れることがある。

例 わたしはきのうはうちにいました。

主題を表す「は」は、従属節（「...とき」「...まえに」など）連体修飾節（「A / AN + N」
「V + N」）の中では使えない。

主題を表す「は」は、すでに話し手と聞き手が共有している情報となっているものにつく。

例 A: きのう山本さんに会いました。

B: そうですか。

A: 山本さんは田中さんといっしょでした。

【関連項目】

助-03 も

【「れんしゅう編」の練習】

8-5 アルバイト

8-7 日本の学校制度